

1. 研究課題名

黄色ブドウ球菌が尿から検出された患者における黄色ブドウ球菌菌血症の頻度と関連する要因についての検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

尿の培養検査は膀胱や腎臓の感染症を疑った場合にしばしば行われ、原因となる菌を見つけることができ、治療に有用です。ただし黄色ブドウ球菌という菌が検出された場合は、より重篤な感染症である菌血症を伴っていることもあります。黄色ブドウ球菌の菌血症ではより詳しい検査や点滴での抗菌薬の治療をしっかりと行う必要があるため、菌血症があるかないかの区別は重要です。菌血症を見つけるためには血液培養という別の検査を行い、この検査で菌が見つければ菌血症と診断することができますが、どのような場合にその検査を行うべきかどうかはまだはっきりわかりません。

本研究は、尿の培養検査で黄色ブドウ球菌が検出された患者さんのうち、血液培養で黄色ブドウ球菌が検出された患者さんとされなかった患者さんの症状などを比較することにより、菌血症の患者さんと関連する要因を明らかにすることを目的としています。

この結果、菌血症と関連する要因がわかれば、黄色ブドウ球菌が尿培養から検出された患者さんで、どのような方に血液培養検査を行うべきかの判断に役立つ可能性があります。

研究期間は承認日から 2025 年 12 月 31 日までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に当センターを受診され、尿培養検査と血液培養検査が行われ、尿培養から黄色ブドウ球菌が検出された方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、症状や血液検査の結果、培養検査の結果などで、利用を開始するのは本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 感染症科 上田晃弘（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、

以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 【感染症科】 上田晃弘